

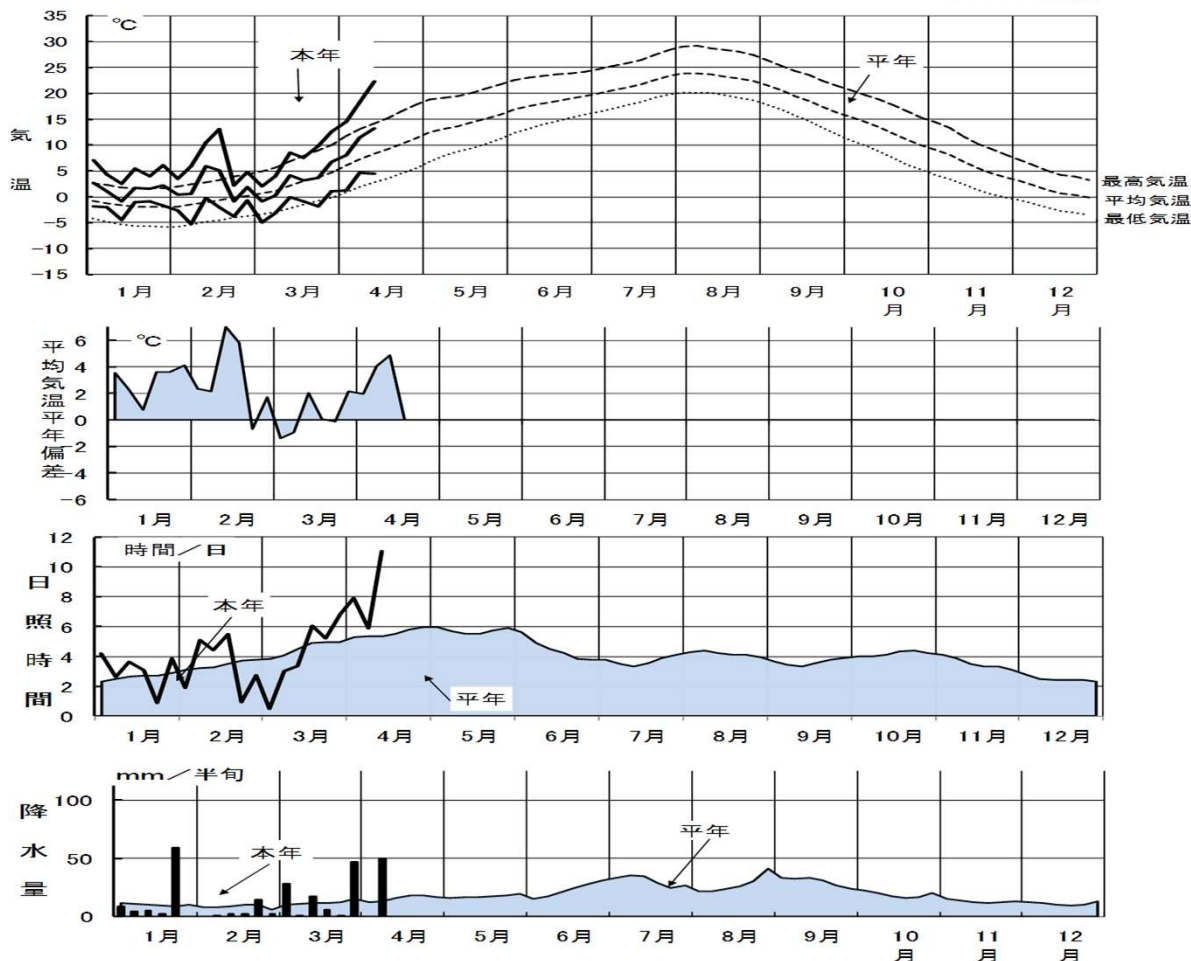
1、気象経過

アメダス若柳観測所（胆沢区若柳字下松原、標高100m）

令和6年(2024年)若柳気象経過図

(アメダス若柳観測所(胆沢区若柳字下松原、標高97m))

R6.4.15現在



2、定植作業について

栽培マニュアルP14

定植作業は適期に行うよう努めましょう。

(1)、かん水作業

定植直後は、十分にかん水します。圃場が乾燥するようであれば十分にかん水します。

※草丈やボリュームを確保するために非常に重要な作業です。

この時可能であれば液肥でかん水すると、活着や初期生育を促進する効果があります。

くみあい液肥2号 1,000倍

(2)、定植時薬剤散布

定植時に施用します。菊に吸収されて効果を現すので、土壌が乾燥しないように、かん水を十分に行います。

- 「ジェイエース粒剤」

適用病害虫 アブラムシ類、アザミウマ類、マメハモグリバエ

使用量 10アール当たり6kg、または株当たり1~2g（但し10アール当たり9kgまで）

使用方法 発生初期 株元散布

3、エテホン処理について

栽培マニュアルP32、33

- 「エスレル10」

需要期より開花の早い品種への処理により需要期出荷をねらう目的や、栽培面積が大きい品種の一部に散布し同じ品種を段階的に出荷する目的で利用します。

希釈倍率 500倍

使用時期 摘芯時または定植後1週間以内 及びその後10~14日毎

本剤の使用回数 3回以内

使用液量 2~10ml/株あたり 全面散布（株全体がぬれる程度）

※使用前には必ず容器ラベルを確認し、適正使用を意識しましょう！
令和6年4月16日現在の農業登録情報による

今年度の需要期（販売日）について

7月						8月						9月					
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金
	1	2	3	4	5					1	2	1	2	3	4	5	6
	赤口	先勝	友引	先負	仏滅					友引	先負	大安	赤口	友引	先負	仏滅	赤口
7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口
14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
	海の日						山の日						敬老の日				
21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27
先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
28	29	30	31			25	26	27	28	29	30	29	30				
仏滅	大安	赤口	先勝			仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安				

4、きくのクロゲハナアザミウマの発生について

令和4年度より県内でクロゲハナアザミウマの寄生及び吸汁害が確認されました。本県での発生生態は十分に把握されておらず、また、ハダニ類の被害と誤認されることも多いとのことです。通常のアザミウマに効果のある薬剤で防除対応できます。



クロゲハナアザミウマの成虫（左）



小さいの被害葉（右）

5、伏せこみ床の緑肥作付けについて

小菊を同じ場所に伏せ込み続けると・・・
 ・苗の十分な確保
 ・苗の品質維持
 等々難しくなります
 次年度を見据えて緑肥の作付けはいかがでしょうか？



伏せこみ床のソルゴー作付けスケジュール例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	播種	⇒ 50～60日後	刈り取り すき込み	腐熟期間 20～30日			伏せ込み	
		播種	⇒ 50～60日後	刈り取り すき込み	腐熟期間 20～30日		伏せ込み	
			播種	⇒ 50～60日後	刈り取り すき込み	腐熟期間 20～30日		伏せ込み

播種時期5～7月 日平均気温が15℃以上になった頃が目安 R5.7.5一関市
 播種、鎮圧（播種前後は十分にかん水、特に発芽までは乾かささないよう管理）
 ソルゴーは草丈が高くなります。フレールモア、草刈り機などで裁断後、すき込みする。
 すき込み後、2回ほどロータリーをかけると腐熟が促進されます。

6、小ざくアンケート結果から（平均単収以上の農家の実施率が高い作業）

- ① 開花調節（エテホン処理等）の実施（5/5戸：100%、回答者平均64%）
 同じ品種の段階的な出荷や、適期出荷など、目的に合わせて開花調節を利用しています。
- ② 生育中、乾燥時にかん水を実施（5/5戸：100%、回答者平均86%）
 かん水のための水源がある（5/5戸：100%、回答者平均71%）
 圃場が乾燥すると、小ざくの活着や初期生育が悪くなる場合があります。
 乾燥時にはかん水できるよう、かん水方法や水源を再確認しましょう。
- ③ 単収向上に必要と思うこと：初期生育の確保、土壌環境改善、根の健全性の確保
 定植の前に、初期生育確保のための適期定植や、土壌の排水改善など、確認しましょう。